



2013年9月15日 一般社団法人千葉IT経営センター 理事 堀 明人

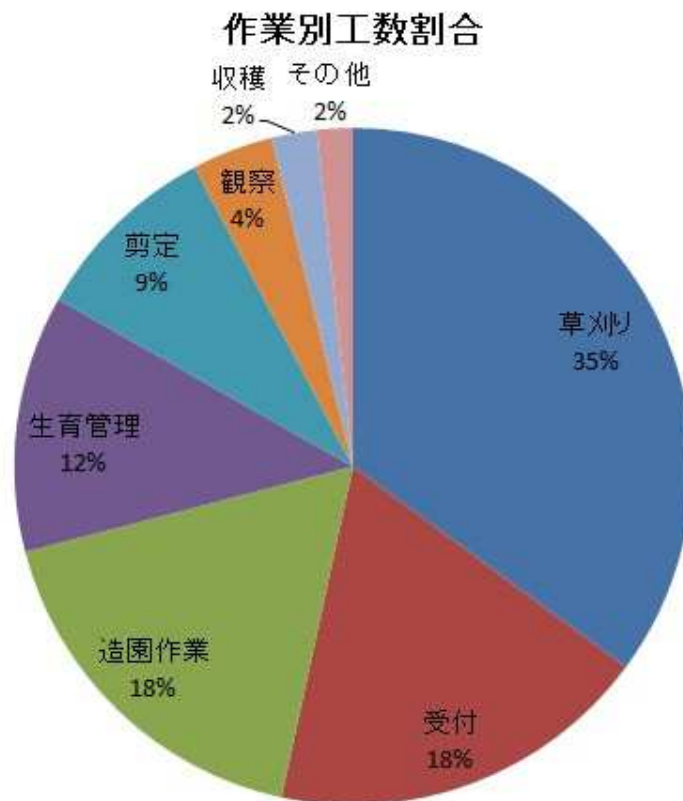
無料で使える農業アプリ「畑らく日記」。兼業農家である私自身も自分自身の農作業履歴管理に使っています。テスト段階からの利用も含め、「畑らく日記」を使い始めてほぼ一年が経過したため、実績データをダウンロードして、Excel を使って簡単に集計してみました。

「畑らく日記」を使って、実際に何が見えるようになるのか、ご覧いただければと思います。

◆作業別工数割合

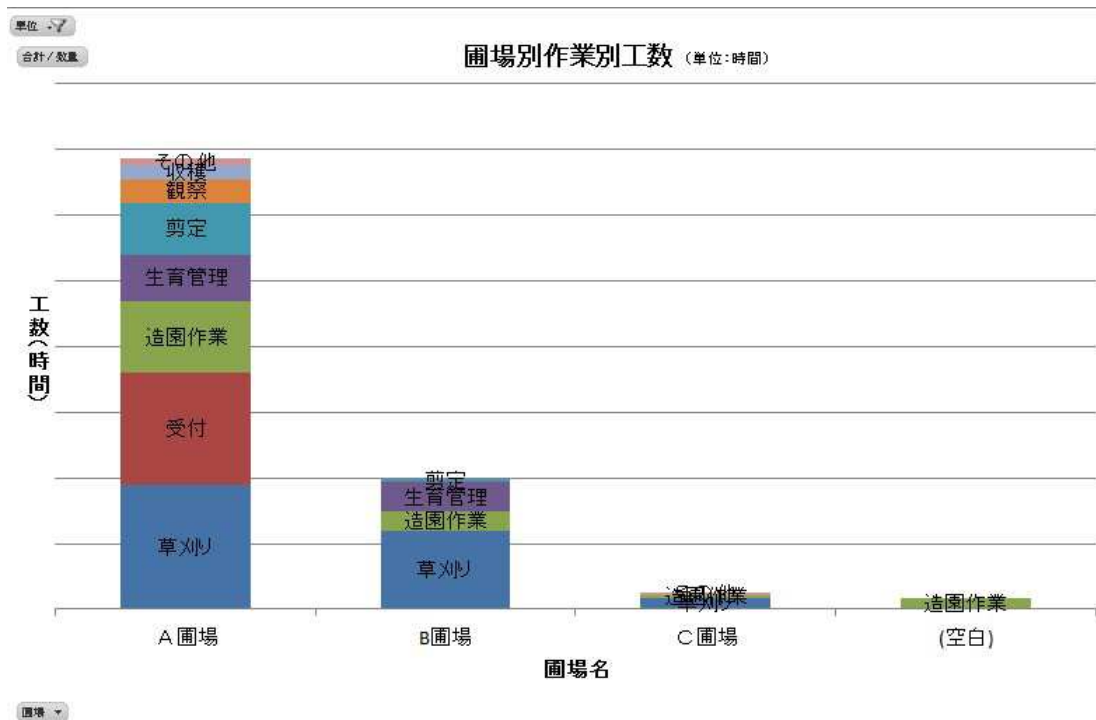
作業別の作業時間を集計すると、一年間、どの作業にどれだけ時間を割いているかが見えてきます。小生の場合には、草刈りに35%の時間を費やし、次いで、2013年から営業開始したブルーベリー観光農園の受付に18%、観光農園の造園作業に18%を費やしているという割合が見えてきました。

これにより、今後、草刈りや受付業務の中で定型化・マニュアル化できるような作業が定義できれば、パートやアルバイトを雇用することが計画でき、その分だけ、経営者としての私の時間を他に振り向けることができるようになるという選択肢が見えてきます。



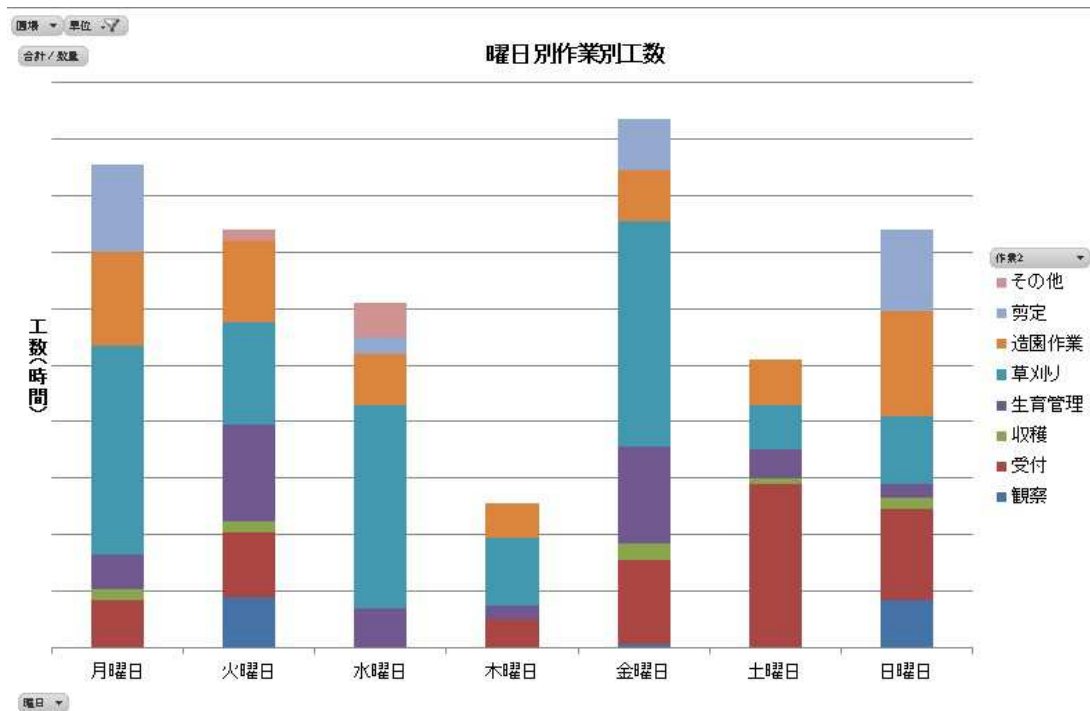
◆圃場別作業別工数

先ほどの作業別工数を圃場ごとに見ていけば、まだ観光摘み取り園を開園していない「B 圃場」の今後の必要工数が推測できるようになりました。



◆曜日別作業別工数

曜日別の工数も、こうしてデジタルに見るととてもわかりやすいですね。小生の場合には、木曜日は比較的他の仕事を入れているようで、金曜日と月曜日に作業が集中している傾向が見て取れます。



以上